

お願い致します。

- ②クラブ・アッセンブリーを3月13日PM6時より、松風町「入川」にて開催致します。急なご案内で申付けありませんが多数ご出席下さい。
- ③市民会館へ寄贈する国旗台一式の贈呈は、3月20日各クラブ会長3人が函館市長に手渡しする運びとなっております。
- ④松前R.C.1周年記念集會に多数ご出席下さい。
- ⑤新役員が決まりました。会長木屋守迪君、副塚田次郎君、理事布日賢治君、岩塚陽一君、佐々木俊郎君、角谷隆一君、外山定男君、幹事平野義勝君、副高杉重雄君、会計福田哲郎君、SAA太刀川千吉郎君、副本間隆君

◎ニコニコボックス

- ①函館東5代目会長をつとめられた渡辺綱彦君この度相模原市の病院の方へ栄転される事になりました。先生は大変ロータリーに奉仕された方です。お別れに皆様、はくしゅをお願い致します。
- ②深瀬会員におかれましては、二女の方レナウン・パターンデザイナーに就職三女同志社英文科入学、ご長男ラ・サール入学おめでとうございます。
- ③山形会員ご子息中央大学商科入学おめでとうございます。
- ④杉本(敏)会員当クラブに1ヶ月程出席せず申付けない。これから又出席致します。

◎渡辺綱彦会員(函館東R.C.) 転任挨拶

この度函館をさり、相模原市の東芝リンカン病院の方へ勤務することになりました。ながい事お世話になりました。分区代理をしておりました頃当クラブも大変だった事を気憶しております。当時のガバナー岡田さんから宜しくと云われ働きかけたのですが今では、立派なクラブに成長されました。相模原市では、相模原R.C.に入会させて頂く事になっております。大変お世話になりました。どうぞおこしの節はお立寄り下さいませ。

◎新会員紹介 推薦者 俣野純夫 会員

氏名	柴田量司君	生年月日	大正14年6月20日
住所	亀田町富岡50番地	結婚記念日	昭和26年6月4日
勤務先	しばた小児科院長	ご家族	妻 寿美恵 昭5.2.8生
学歴	北大医専卒		長男 誠 ラ・サール2年
趣味	ゴルフ		次男 聡 付中2年

◎卓話 “会計こぼなし” 水谷善一 会員

私の話は会計の話なので無味乾燥でわかりにくくつまらない話ですがほんの一寸の間御辛抱下さい。最近私の方に交際費が多いと云う小言を頂戴した。それで会社の計理などでどのようにしたらよいだろうと云う相談を受ける事が多いのです。交際費と云うと半分は飲み食いが入っている。個人的な楽しみがあるのじゃないか又会社の売上げを確保するとかあるいは新調査させるための一つの手段になるのじゃないかそのけじめが非常につけにくい。この飲食費を会社の経費に上げるのはまずいというののもっともな話である。その交際費は全国的にみて7千億だそうです。法人からあつまる税金が1兆5~6千億程度ですがその半分くらいが飲み食いに使われている。株式に出費している人達に配当を頂く額(7千億)だけだと交際費としてして飛んでいっているのだ。考えて見ますと日本は人と車のようなものでどうも道路が狭まざるのじゃないか。それが単なる道路でなく交際費支出の経費と収入という道路が狭まいのじゃないか。この道路が大きくなったらどうのこうのと云う問題がおきないのじゃないかと思ひます。(紙面の関係上、短縮致しました事をお詫び申上げます。)

次回例会日 3月25日です。

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長) 再検討し 刷新しよう



第292回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

卓話 “中国のゆくえ”

北海道教育大学教授 加賀栄治先生

- ◎出席報告 45. 3. 18 会員数 46名 出席 38名 欠席 8名 前回出席 会員数 46名 出席 36名 欠席 10名 メーキャップ8名 出席除外者1名 97.78% 他クラブ状況 函館R.C. 91.87% 函館東R.C. 100.00% 五稜郭R.C. 92.86%

◎世界理解週間

毎年3月20日を含む週間と定められている。今年は3月15日から20日までの1週間がこれに当る。世界の人類相互の理解を深めるためには、いろいろのことが考えられようが、直接異つた国、異つた人種の人達相互の交歓親睦による理解増進の外に、外国や外国人には縁遠い地域の人達の間、外国及び外国人に就いての知識を普及させるため、ロータリアンやロータリークラブが奉仕をする。例えば、書籍やパンフレットの類を頒

布するとか、講演会や教育映画会を催すとか、更に、進んでは「彼等の身になつて」会議を開催するとか一なども極めて有効適切であろう。それぞれの国の大使館や領事館などは、これらの啓蒙的催しには喜んで資料や便宜を供与して呉れる筈である。

## 第290回例会記録

- ◎司 会 外 山 定 男 会 長      ◎齊 唱 それでこそ、ロータリー  
◎ピジター 函 館 R. C. 川守田 完三君 外8名  
函 館 東 R. C. 平 田 恒 喜君 外5名  
函館五稜郭 R. C. 関 勝吉君

### ◎会長報告

遠藤尚義会員シニアアクティブ会員になられました事をご報告申し上げます。

### ◎幹事報告

①4月19日、江差で行なわれます。インターンティ・ゼネラル・フォーラム会員多数のご出席を希望します。又新会員は出来る限りご出席下さい。

登録料700円、懇親会費1,500円、クラブで登録料とバス代を負担します。

◎本日例会終了後、5周年誌編集委員会を開きます。

### ◎ニコニコボックス

①布目会員2女アジア大学卒業おめでとうございます。

②過日行なわれました、当クラブ・アッセンブリー大変盛会の内に終わりました。

### ◎第350地区内親愛なる、ロータリアン各位、ジョージ・R・ミーンズ事務総長

1970年1月30日付、コンウェイ会長の書翰に要約されている規定により、現在の第350地区内のクラブを二つの地区に再編成するという。国際ロータリー理事会の決議は、1970年7月1日をもつて効力を発することになりました。その二つの地区の区別は、下記の通りであります。

第350地区、日本一北海道のうち、留萌支庁内羽幌町の北境界線、空知支庁の北及び東境界線とする北側及び東側の地域。

第351地区、日本一北海道のうち、留萌支庁内羽幌町の北境界線、空知支庁の北及び南境界線、胆振支庁の北東境界線、日高支庁の北及び東境界線をもつて、境界線とする東側及び西側の地域。

よつて、1970年3月3日現在、存在するクラブは、1970年7月1日をもつて、同封の別紙に示す通りに再編成されます。

### ◎国際ロータリー会長・ノート R.I.会長 ジェームス・F・コンウェイ

何んであれ、やるべきことは「いますぐやる」私は、これを座右の銘としている。さて、米国ニューヨーク州モリシエス・ロータリークラブでは、バックアダックにキャンプ場を常設し、貧困家庭の肢体不自由児童のために、毎年、夏季キャンプを開いている。

実に立派な仕事だ。キャンプを開設した当時は、舗装していない土のままの道や木製の階段が遊戯場や各種施設の間をつないでいた。

ある日、ここからほど遠からぬパッチョーグの町から、チェスター・スーズイというロータリアンがキャンプ場をたずねてきたことがある。彼は、身体の不自由な子供達が、松葉杖や支え棒につかまつて、坂道や木の階段を、苦勞して上り下りしている姿を見て、どうして勾配の緩やかな舗装道路をつけないのだろうか、不思議に思つたという。聞いて見ると予算がないからできないという、ただそれだけの話であつた。その翌日の朝、一団の人々とブルドーザーが1台、それにアスファルトを積んだトラックが数台キャンプに着いた。トラックの横腹には「スーズイ」という名前がしるさされている。驚いたキャンプ場長が、彼等のなかからスーズイを呼んで「これは一体どういうわけですか、予算がないと申し上げたはずですが」とたずねた。すると彼は「心配ありませんよ」という。それから48時間のうちに、土のままの道も、木の階段も、そして、一同が頭をかかえていた問題もすべてなへなつてしまつた。代に勾配の緩やかなアスファルト舗装の道が縦横に場内を走り、子供達は以前よりもずつと楽に、動きまわることが出来るようになった。

彼の行為は立派なもので、賞讃に値する。しかし、この話しをもちだしたのは、彼をたたえるためではなく、行動、つまり実行の必要を強調するためである。

何んであれ、社会が必要としているものを見付けたら、すぐその必要を満してもらいたい。欠陥があれば、すぐ直してもらいたい。助けを求めている声を聞いたら、すぐそれに応えていただきたい。物事に敏速に反応する態を養おう。

あれこれと思いめぐらしたり、話し合つたりしていただらずに遅延することなく「今すぐやろう」ではないか、私の愛好するこの座右銘を諸君も実行してほしい。

### ◎卓 話 “脳 卒 中 の は な し” 深瀬鴻一郎会員

昨日らいの大雪で、主用幹線がまひ状態になつております。私達人間の体にも脳卒中と云う、まひ状態になる病気があります。私達もそろそろ、そう云う年に入つて参りました。脳卒中でなくなる人は、死去率の中で日本が一番高く、この脳卒中は、交通事故のように突然やつて来て、色々な運動障害とか、言語障害と何時迄ものころ。いやな病気であります。

卒とは「ソッセン」中は「あたる」と云う意味で、中気とか、中風とも云われております。日本で一番多い地方は、秋田でめりまして「ドンとあつたとか」「軽くあつたとか」云います。若い人も多く「かすつた」と云つています。

図をごらんください

脳 卒 中 { 脳 出 血 (溢血)  
          { 脳 軟 化 { 血 栓  
                  { 栓 塞  
                  (梗塞)

脳出血は、50代から60代の人に多く、血圧の高い人に多くみられます。

血液が7分以上停止すると酸素がとどかず、脳溢血が起ります。又、血圧の高い人が急に血圧の低くなつた時に起ります。平素、血圧の高い人が、血圧が下つたような時が危険なわけです。(血圧の強さは、首を切つた時、3階あたりまで血が登ると云われております。)

脳軟化は、50代から70代に多く、脳の血管にたまる、コレステロールによります。

脳栓塞、血管がつまり、心臓のあかがたまるもので、心臓の悪い人に多くみられ、若い人にもあります。

脳血栓、老化により、色々なものが血管につまり、これは、時間的にゆつくり来ます。

都会の人に最近脳血栓が非常に多く、これは、脳卒中等に注意をしすぎたため、クスリ、食事の問題等で、血管自体に栄養がとれず、細くなり、血のめぐり、弾力性が欠け、コレステロールがたまり、脳血栓になる例が多くあります。血管の強さは、最低90から、最高150等と云われていますが、ブレッシャーして見ると健康なもので、600迄上つても、破れないとされています。

動脈硬化は最近花形ですが、これは、長い年月を継て、その状態になつたのですから、食餌療法によりましても、その後の全生涯にわたり、継続すべきものでありまして、過状に急いで下げて見ても、何んら治療的意義はないのです。高血圧に対しても高いコレステロールに対しても、一旦侵入した敵は、仲々シブトク、我々は、長期戦で戦わねばなりません。良き参謀の主治医を持ち、Case by Caseで作戦をたてるべきであります。

◎表題にありますように、国際理解週間中であります。

プログラム委員長より、ミス・ワーレン(遺愛高)のスピーチを予定しておりましたが職員会議のため、おいでになれなくなり、私が、国際委員長なので、一寸お話し致します。4月19日、江差で行なわれますインターシティ・ゼネラル・フォーラムの席上、動議として提出する予定しておりますが「ビアフラに対するロータリーの態度」を提案して見たいと思います。

ビアフラの問題は急を用し、すぐに救いの手を差し伸べ、そして、大きいものでなければなりません。地区別にするか、日本全体にするか、意見が多数でございました。又その他の問題がありましたら、私の所、あるいは、幹事の方へお知らせ下さいませ。

次回例会日 4月1日です。

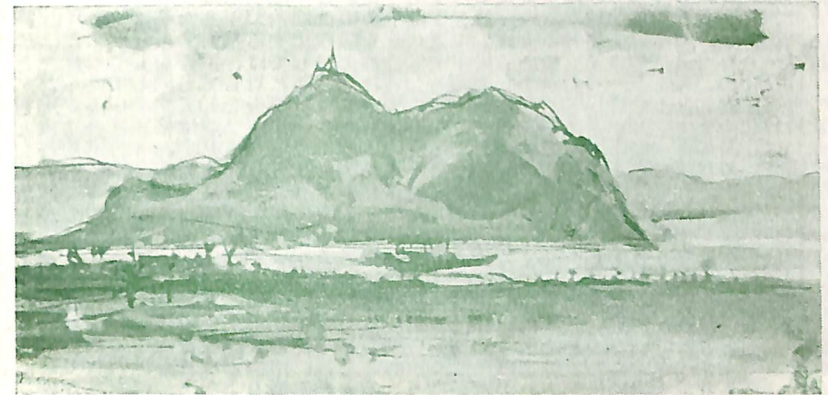
REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長)  
再検討し 刷新しよう



1970. 4. 1

1969~1970 第38号

第293回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

卓話 “風疎竹に来たる”

遠藤尚義 会員

◎出席報告

45.3.25 会員数 46名 出席 33名 欠席 13名  
前回出席 会員数 46名 出席 38名 欠席 8名 メイキャップ 6名  
出席除外 1名 97.78%  
他クラブ状況 函館R.C. 95.98% 函館東R.C. 100% 五稜郭R.C. 96.43%

第292回例会記録

◎司 会 外山定男 会長 ◎斉 唱 手に手つないで  
◎ゲ ス ト 加賀栄治先生 北海道教育大学教授  
◎ビ ジ タ ー 小松俊雄君 (小樽南R.C. 保存食品製造)  
函 館 R. C. 加藤政雄君 外9名  
函 館 東 R. C. 笠井貞義君 外8名  
五稜郭R.C. 西村雅吉君